

木ってどんな顔しているのかな？

■プログラムの概要

ねらい	<ul style="list-style-type: none">・視覚・触覚などを駆使して、身近な自然物に気づく。・木の顔作りを通して、木ひとつひとつに特徴があることを知り、身近な樹木への愛着を深める。		
キーワード	身近な自然		
対象	幼児～小学2年		
時間	50分	実施場所	園庭・公園など
使用するもの	<ul style="list-style-type: none">・園庭・公園などにある木や葉・木につける、目・鼻・口などの顔のパーツ（画用紙）・両面テープ・帽子（おにごっこ用）		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. あいさつ 自己紹介2. ウォーミングアップ 増やし鬼「キロリのおにごっこ」の活動を行う。3. 木の顔を作ろう 自分（グループ）の選んだ木に口や目、耳などをつける。4. まとめ 全員で友達の作った木の顔を見に行き、作った子どもの意見を聞き感想を出し合う。		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	<あいさつ・自己紹介>	
20分	<p><ウォーミングアップ> キロリのおにごっこ オニは逃げる側が木にタッチしている間は、捕まえられない。替りにオニがキロリ、キロリ、キロリという“呪文”を唱えると、木から離れて逃げなくてはいけない遊び。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 帽子の色で、オニグループと逃げるグループに分ける • オニに捕まった子は、帽子を裏返してオニになる 	<ul style="list-style-type: none"> • おにごっこは子どもが意欲的で3回程やりたがる。プログラムの実施可能時間に合わせて行いたい。 ※3回オニを変えて活動した場合、時間は20分ほど。 • 他のウォーミングアップの例 あらかじめ数枚の葉を集めてきて、真ん中に広げる。じゃんけんをして、勝った人が1枚ずつ葉っぱを拾っていく。 （じゃんけんは指導者とでも、友達同士とでも可。） 持っている葉っぱを友達と見比べ、同じ葉っぱがあるかを調べる。
10分	<p><木の顔をつくろう> 個人（またはグループ）に分かれる。顔のパーツは袋に入れて、個人（グループ）ごとに持つ。</p> <p>園庭・校庭から気に入った木を見つけ、口や目、耳などの顔のパーツを貼り表情をつけていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 対象の園児に応じて個人で行うかグループで行うかは決定する。その際、指導者は園児への補助がしやすいようにすることとする。 • 顔のパーツは、木の洞（ほら）や、枝の切り口などを顔の部分に見立てると、使わなくてもよいことを教える。 • 選ぶ木については、園児の数に応じて範囲を設定し、活動が目の届く範囲で行われるようにする。
15分	<p><まとめ・ふりかえり> 集合し、全員分の作品を見に行く。状況に応じて、発表や感想を言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 園児の年齢などによっては発表や感想を言うことが困難な場合もある。可能な園児のみにするなどの対応をとる。
5分	<p>片付けをして、再び集合する。 あいさつをして、活動を終了する。</p>	

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
顔のパーツ	人数分	目・鼻・口で1セット。木の顔を作ろうで使用。 ※薄い画用紙などで作り、木に簡単に貼り付けられるように両面テープで裏打ちしておくといよい。
両側（表裏）使いの帽子	各自	日常の園の帽子（もしくは体操帽）。キロリのおにごっこで使用。
虫よけスプレーなど	適宜	蚊の発生時期は留意する。（環境によっては10月頃まで発生する。）
救急箱	1セット	擦り傷などへの対応

■実施にあたって留意する点

- ・「木の顔を作ろう」を中心に、園児には自分の表現力が問われる場面がある。指導者が補佐につきやすい体制を作ったり、親子での活動にしたりといった準備が必要になる。